

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
臨床栄養学Ⅲ	3年次	必修	講義	2単位（30時間）	大友 崇※
授 業 概 要					
1. 消化器疾患の病態生理を系統的に学ぶ。 2. 消化器疾患の成因，診断（検査データの読み方），治療（栄養食事療法含む）について修得する。					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 消化器疾患に関して，患者個々の病態や心理・背景を考慮した栄養管理と栄養教育が実践できること。</li> <li>・ チーム医療の一員として，消化器疾患の栄養療法に関する正確で適切な判断と提案ができること。</li> </ul>					
実務経験のある教員					
大友 崇：病院での臨床経験に触れながら、臨床栄養学で学んだ内容を臓器別、疾患別にまとめていく。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	食道疾患（胃食道逆流症，食道癌）				大友 崇※
2	胃・腸疾患①（胃炎，胃・十二指腸潰瘍）				
3	胃・腸疾患②（胃癌，大腸癌：術前術後と化学療法中の栄養管理）				
4	胃・腸疾患③（過敏性腸症候群，炎症性腸疾患，大腸癌）				
5	胃・腸疾患③（過敏性腸症候群，炎症性腸疾患，大腸癌）②				
6	胃・腸疾患のまとめと症例検討				
7	胆のう疾患（胆石・胆のう炎）				
8	膵臓疾患（急性膵炎，慢性膵炎）				
9	胆のう疾患と膵臓疾患のまとめと症例検討				
10	肝臓疾患①（肝臓の働きと栄養代謝）				
11	肝臓疾患②（急性肝炎，慢性肝炎）				
12	肝臓疾患③（脂肪肝，NAFLD）				
13	肝臓疾患④（肝硬変，代償期と非代償期）				
14	肝臓疾患⑤（肝不全，肝性脳症）				
15	肝臓疾患のまとめと症例検討				
学 習 方 法					
教科書を熟読し，不明な点は関連書籍などを活用して自分なりの答えを出す努力を惜しまないこと。 授業の中では，不明な点と自分で出した答えを全員でディスカッションする時間も設ける。月曜試験の結果から自身の授業の理解度を把握して，弱点克服に努める。					
評 価 方 法					
[評価方法] 科目修了試験 80%，月曜テスト20%で評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
第4版 最新臨床栄養学 栄養治療の基礎と実際，上原誉志男他編，株式会社光生館 臨床栄養教育 トレーニングテキスト，症例から学ぶ栄養ケア，本田佳子編，医歯薬出版株式会社					